

「ふてぼや」  
つてなあに?

本年も師走となり恒例の「新語・流行語大賞」が発表された。30の言葉の中から「ふてぼや」が大賞となったが、聞きなれない言葉に一瞬「エッ」となった。知らないのは自分だけかと気になつて30語全部を調べてみると、なんと約半数が聞き覚えのないものと分かり、これも年のせいでしょうか、これも年のせいでしょうかと愕然とさせられた。

30の中には「裏金問題」もあった。これがきっかけとなり衆議院は解散され、選挙の結果はほとんどの国民が承知のことと思われ、大賞に相応しいと考えるのは私だけだろうか。

どんな基準で選出されるのか知らないし、選挙委員のメンバーをみれば考えにくいことだが昨今流行の「んらかの」付度“がなかったのかと勘ぐってしまった。先日韓国で戒厳令布告という民主主義の危機を招きかねないような重大な出来事があった。日本にも重大な影響が考えられる。信毎のコラムにこの問題に対する日本のメディアの反応の鈍さを危惧する記事がのつていた。偶然か意図的か。共通するものがなければよいのだが。

(70代男性)

国家予算は青天井か

来年度の一般会計概算要求は、また前年を上回り、11兆6059億円と過去最大規模です。こんな財政規律なき感覚でいいのか。

その一方で、ムダ使いも繰り返されているのです。たとえば、業者への仕事を丸投げして管理をしない。管理組織みすらない。

会計検査院の調査で345件648億円の不適切取り扱いが指摘されています。他人の力ネだと思つていては国の借金は膨らむ一方です。

(吾妻町 西田良平)

健康情報

12月・1月に多い  
ヒートショックに注意

毎年、この時期はヒートショック（血圧の激しい変動です）で死亡する人が最も多く、とくに高齢の方は注意が必要です。さまざまな情報で理解されていても、ついあわてて風呂に飛び込んでいないでしょうか。

- 風呂のフタを開けて湯気で温めておく
- 足元からかけ湯をする
- ゆつくり湯船に入り足を温めながらゆつくり身体を沈める
- 湯の温度41度まで。あたりまえの事です。油断禁物です。

（注意）飲酒・食直後・服薬直後の入浴は避け、30分〜60分経過後に



今年一年を振り返つて

自公政権 少数政権に後退

今年最大のハイライトは自民党公明党の絶対多数の政権が総選挙によって少数政権に後退したことです。

これは「しんぶん赤旗」日曜版の「自民党派閥の政治資金パーティー収入不記載のスクープと一連の裏金問題報道」によって、自民党の不正腐敗の「大政治犯罪」があげられ、マスメディアもこれを報じ始め、国民の批判が大きく拡がり、10月の衆院選での与党の議席大幅減となりました。

政治改革の原動力となった共産党は残念ながら2議席減となつてしまいました。

しかし、この選挙結果は、今まで自公政権は重要法案を国会審議にもかけず閣議決定で決めたり、強行採決を繰り返すなど

多数での強権政治を行ってきたが、今後は国民や野党の意見を聞き議論を尽くす事が不可欠となり、政治状況を一変させました。

次に池田町では3月に町長・町議会議員補選が行われ、町長に矢口稔氏、町議に安部誠氏が当選しました。山積する困難な課題にたいし積極的な取り組みを期待しています。

また、この12月には日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞し

12月休日議会を視聴して

7日（土）に議長を除く全議員10人の一般質問がありました。人口減少が課題の町の今後を問う質問が半数の議員から出されました。町民ミーティングで300件の意見が出されましたが、今後の町の取り組みは、「まずキャッチフレーズを決める」とのことでした。

課題に向け具体的な戦略を示してほしいと思います。また、服部議員から、自衛隊

今年一年大変お世話になりました。来年は参議院選挙の年です。新たな気持ちで頑張ります。応援をよろしくお願いいたします。



鶏の照り焼き



お正月レシピ

- 材料（つくりやすい分量）  
鶏もも肉・・・2枚（1枚約300g）  
●照りじょうゆ  
しょうゆ・・・大さじ5  
みりん・・・大さじ3  
さとう・・・大さじ1  
●サラダ油

1. 鶏肉は余分な脂を切り取る
2. フライパンにサラダ油大さじ2分の1を入れて温め、1の鶏肉を皮側を下にして並べて焼く。中火で皮側にきれいな焼き色をつけ裏返す。
3. フライパンにたまった油を紙タオルで拭き取り、照りじょうゆの材料を回し入れてふたをする。ごく弱火にして蒸し焼きにする。10分間ほど蒸し焼きにする。途中、5分くらい焼いたら裏返す。
4. ふたを取って火を強め、照りじょうゆを鶏肉にからめて照りをつける。
5. 網の上に取り出し、照りじょうゆをとろりとかけて冷ます。保存容器に入れて冷蔵庫におき、翌日身が締まったら、できるだけ薄く切る。

文芸欄 今月は川柳です

物価高自給自足に生かされて  
夫婦して忘れを競う年の暮  
企業献金の禁止は憲法違反です  
と新首相 エーツ  
徳子  
山茶  
守

コラム 有明

指一本で世界に情報が拡散される。なんと便利な世の中になったのだろうか。また便利な反面デマも同時に広がつてそれが本当か分からなくなる▼アメリカ大統領選のときにデマ宣伝の怖さを感じていたのですが、そのまま通過してしまつた。▼SNSの恐ろしさを実感したのは兵庫県知事選の時。選挙の少し前に神戸の友人を訪ねる機会があり、民医連の医師候補の選挙ピラを撒くなど少しだけ応援をしてきた。問題の前知事がよくまあ立候補したものだと思つていなかった▼当日「当確」と出たので本当に仰天。ニュースで流れたのは「SNSで斉藤さんの事実がわかつた、テレビの方がデマで自殺した人が悪かつた」等々▼このネットのデマ宣伝や誹謗中傷で自殺する人がいるという事実をどう捉えたいのか分らない▼何が真実で何がデマか自分の目で確かめるしかない。世界の戦争は終わらず、広がって行くのか、政府の動きをよく見ていたい。

(40歳女性)

発行責任者 太田 勅 (62-5727)  
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)  
編集責任者 服部 久子 (62-4357)  
山本 久子 (61-1066)



ノーベル平和賞受賞